

## ◆特定保健指導

日本人の死亡原因の約6割を占める生活習慣病の予防のために、40歳から74歳までの方を対象に、メタリックシンドロームに着目した健診を行い、その結果から、生活習慣病の発症リスクが高く、生活習慣の改善による生活習慣病の予防効果が多く期待できる方に対して、保険者から特定保健指導を受けるよう通知された方が対象となります。

当院では専門スタッフが生活習慣を見直すサポートをいたします。

